

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 優秀賞（事務次官賞）

「わたしの思う土しゃさいがい」

福岡県 小郡市立東野小学校 2年 藤本 聡子

休みの日おばあちゃんと、たまに山のぼりをします。

前に山のぼりをした時に土しゃさいがいがあったあとを見ました。大きな岩がおちてたり、山ごやがたおれたりしていました。はじめて山にのぼった時、大きな岩がみちのはしっこにならべてあったからなんだろうと思いました。おばあちゃんに聞いたら、岩がおちて来てみちがふさがったからはしっこによせたんだよと教えてくれました。

ほかにもみちのとちゅうに岩がおちて来るかもしれないからここで休けいしちゃだめとかんばんに書いてありました。大きな岩がおちてきそうでこわかったです。

また岩がおちて来ないようにボランティアの人たちがネットをはります。おばあちゃんは土しゃさいがいをふせぐための、ボランティアをしているからすごいと思いました。わたしもこまってる人にボランティアをしてあげたいです。

山のぼりをする人のあんぜんのために、いろいろなことをしてくれるからあんしんして山にのぼれます。だからわたしはボランティアの人たちにかんしゃしています。

土しゃさいがいをじっさいちょくせつは見たことないけど、土がながれて家もいっしょにながれたり、うまったりするからとてもこわいです。

土しゃさいがいにあった人のことをそうぞうするとまだやりたいことがたくさんあるのにしんでしまうからかわいそうでたすけたいくらいです。

また土しゃさいがいがおきないためには、木をたくさん生やしたらいいと思います。

つぎに山のぼりするときには、土しゃさいがいがおきないために、どことなくふうがされているのかたくさんかんさつしたいと思います。